

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年 4月25日更新

事務事業名		消防施設設置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	齋藤 和広
	施策	15	防災対策の推進			所属課	交通防災課	担当者名	橋本 達郎
	施策の柱	48	災害予防対策			所属班	交通防災班	(内線)	1243
予算科目	会計一般	款 9	項 1	目 3	事業連番 10010	根拠法令	消防法、合志市消防施設整備費補助金交付要綱		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市が整備する消防設備についての事務で、大別すると次の3つの項目になる。 ①開発行為に伴う、消防水利の協議及び開発に伴って設置した消防水利の検査事務 ②水道事業において設置する消火栓(基準水利)の打合せから設置、負担金支払い事務 ③各行政区が設置した、消防施設についての補助金交付事務
【業務の流れ】	・開発業者や設置業者への指示、検査 ・区に対する補助金の申請受付交付支払事務、実績報告に伴う確認検査
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	消防団発電機6台の更新を行った。消防施設の整備を行なった行政区について補助金を交付した。 【基準に達しなかった理由】消防施設整備補助金の申請額が当初予定よりも低かった為。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・水道事業に併せ消火栓を設置する。・開発協議において防火水槽または消火栓の設置の指示を行う。・消防施設の整備を行なった区について、補助金を交付する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由 ア: 防火水槽設置数 イ: 消火栓設置数	区からの消防施設整備費補助の要望額合計が少なかったことによる補助金の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ・消防施設(消防水利、小型ポンプ、積載車、消防施設)	(単位) ② 対象指標(対象の大きさを表す指標) ア: 消防水利数 イ:	箇所
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・未整備地区に設置する。	(単位) ③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) ア: 前年度より増加した消防水利数 イ:	箇所
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠 ・消防水利数の増加により、火災時の消火活動が早まる。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度 実績(決算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	5年度 予定	6年度 見込	7年度 見込	
① 活動指標	ア 箇所		4	10	3	3	3	3	3	3	
	イ 箇所		1	13	7	4	7	7	7	7	
② 対象指標	ア 箇所		861	884	880	887	890	900	910	920	
	イ 箇所										
③ 成果指標	ア 箇所		5	23	10	3	10	10	10	10	
	イ 箇所										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円				235				
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計		千円	10,384	8,747	17,681	13,172	14,979	10,000	10,000	10,000
	(A)のうち指定経費		千円	3,858	3,850	4,000	3,844	4,000	4,000	4,000	4,000
	(A)のうち時間外、特勤		千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	3	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	290	290	0	270	290	290	290	290
(B) 人件費計		千円	1,149	1,143	0	1,055	1,155	1,155	1,155	1,155	
トータルコスト(A)+(B)		千円	11,533	9,890	17,681	14,462	16,134	11,155	11,155	11,155	

事務事業名	消防施設設置事業	所属部	総務部	所属課	交通防災課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 要望のあった地区へ適正に補助金の交付を行った。また開発や水道事業で計画どおりに消防施設の整備を行えた。
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 市施工では老朽化した民地の防火水槽を数基撤去予定だが、開発行為の増加に伴い、防火水槽および消火栓の新設が想定されているため、達成見込みである。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 防災計画書にある「消防施設強化促進計画」に基づき進めており、消防水利の未整備地区に、計画的に水利を設置していくことで、向上の余地がある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 消防水利については、計画に基づき事業を進めており、削減の余地はない。 ・消防積載車及び小型ポンプについても、計画的に更新しており削減の余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 整備については知識を必要とするため委託等はできないので削減の余地はない
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 消防水利は市全域にわたり、法に基づき未整備地区を整備していくもので、公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 消防施設の設置・管理を行う事は市の責務であり適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

計画内容どおり事業を行うことができた。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>開発に伴う消防水利の増加、また一方で水利の老朽化による撤去も行っており、水利台帳により適切に施設の管理を行っていく。</p>																						